

運動学読者特別割引のお知らせ

4月20日発売

わざの伝承の道しるべ

筑波大学名誉教授 金子明友 著

A5判・608頁 定価5292円

特価・4500円(税・送料込)

本特価は書店および生協では適用されません。
同封の郵便振替用紙に書名・冊数をご記入の上、
郵便局で小社宛てにお振り込みください。

名著『わざの伝承』を大きく前進させる道すじを明示する「金子運動学」の決定版!

本書は、謎に満ちた芸芸の「動く感じ」に現象学的構成分析を進めるための道しるべとして書き下ろされたものである。芸芸の伝承を開示する古来の芸道では、師匠から教えてもらうのではなく、自ら工夫し習得すべきだと世紀を超えて厳しく伝えられている。とすれば、わざ伝承の「道しるべ」を立てることそれ自体は、伝来の自得の美意識を本義とする芸道に反するから邪道となってしまう。しかし、わざを身につける「動く感じ」の道しるべは、キネステーゼ感覚の働く原発生地平に通底しているから身体経験の深層に立ち入らざるをえなくなる。

そこでは、コツとカンという分析対象が姿を見せるが、それは言語化しにくいだけでなく、未体験の人にとっては理解しにくい。ところが、他人の動きをすぐ真似できる人は、そのコツの秘密を一気に読み取ってしまう。このようなコツとカンが状況に応じて同時変換する奇妙な感覚発生の出来事は日常生活の至るところに見られる。スクランブル交差点を急いで通り抜けるようにすると、無意識のうちに状況を見るカンと咄嗟に身を交わすコツが同時変換して他人にぶつからずに通り抜けることができる。これまでは、幼児の運動学習でも、体育の運動学習でも「できればよい」という成果主義一辺倒だったため、その謎に満ちた身体発生現象は運動分析する人の問題意識にも上ってこなかった。身体運動の発生メカニズムは、これまで生理学、物理学、心理学など科学的運動分析として、その物的身体の因果関係が主題となってきた。しかし、純粹現象学という構想は発表されてからすでに一世紀を超えるのに、スポーツや学校教育の運動分析には非科学的であり、客観性に欠けると敬遠されてきた。こうした人たちが、新たな現象学的運動分析に取り組むための「道しるべ」を示した。(「まえがき」より抜粋)



【主な内容】

序章 コツとカンの一元論

第I章 自己運動の身体発生基盤

[I] 先反省の分析道しるべ

[II] 自己運動の分析道しるべ

第II章 他者運動の身体発生基盤

[I] 代行能力の分析道しるべ

[II] 他者運動の分析道しるべ

第III章 カテゴリー分析の道

[I] 類化の分析道しるべ

[II] 基づけの分析道しるべ

[III] 事態の分析道しるべ

第IV章 パトス分析の道

[I] パトスの身体発生基盤

[II] パトス分析の道しるべ

第V章 エートス分析の道

[I] 直観化総合の分析道しるべ

[II] 本質直観の分析道しるべ

[III] 自在無碍の分析道しるべ

終章 発生的運動学の現在と将来

 株式会社 明和出版

〒174-0064 東京都板橋区中台 3-27-F-709

電話: 03-5921-0557 [郵便振替] 00120-3-25221

E-mail: meiwa@zak.att.ne.jp